

高松市文化奨励賞受賞者について

高松市文化奨励賞受賞者について

概要

高松市における文化の振興に貢献し、将来においてさらにその活躍が期待される者を奨励することを目的として設けております高松市文化奨励賞受賞候補者の答申が、10月18日に高松市文化奨励賞選考審議会会長(津森 明・高松短期大学教授)からあり、次の2名を平成19年度の高松市文化奨励賞受賞者と決定いたしました。

受賞者氏名

八木 祐之 (やぎ ゆうし)	芸能・舞台技術
松岡 耕三 (まつおか こうぞう)	文化総合・町おこし

受賞者略歴等

別紙のとおり

贈呈式

平成19年11月8日(木)午後3時～
高松市役所大会議室(13階)

受賞者

フリガナ	マツオカ コウゾウ	
氏名	松岡 耕三	
住所	高松市塩江町	
活動分野 及び内容	分野	文化総合
	内容	町おこし
<p>事績・活動歴</p> <p>平成 7年 環境庁水質保全局「水環境賞」受賞 平成 14年 香川県知事表彰「社会を明るくする運動」感謝状 平成 15年 日本観光協会四国支部「観光事業振興」表彰</p>		
<p>現在の活動状況</p> <p>塩江温泉郷で魚虎旅館を経営し、塩江温泉旅館飲食協同組合理事長の要職をこなす傍ら、昭和52年に発足した、ホテルで町おこしを目指す、塩江町温知会会長として、ホテルの育成活動、塩江フォトコンテスト、文学碑の建立等、塩江の町おこしに、積極的に取り組んでいる。長年、塩江小学校にホテルの幼虫繁殖を指導し、香東川にホテルの幼虫を放流するなど、自然保護の体験学習を通じて、塩江の歴史や風俗を後世に伝えており、町おこしだけでなく、子どもたちに自然環境の大切さを教える活動を積極的に行っている。</p>		